

・地域の面的再生・地域活性化につながる多様なサービスの提供

## 地域と少子化対策のビジョンを共有した取組み

(金融機関名) 福邦銀行

1. 動機(経緯)	<p>少子高齢化社会が進み地域の経済力が縮小することは、地域金融機関にとっても大きな問題である。地域の子育て家庭を金融面から応援することで、地域の発展に役立ち、企業としての社会的責任を果たしたいと考えた。</p>
2. 概要	<p>CSR活動や地域密着型金融の推進、地域の面的再生等を背景に、平成19年4月に「子育て応援バンク」を宣言し、金融機能を活かした地域の子育て支援に取り組んでいる。</p> <p>具体的には次のとおり。</p> <p>法人のお客様向けの「事業性融資商品の金利優遇サービス」は、県の少子化支援策の登録認定等を金利優遇の条件としている。対象の2商品は無担保・第三者保証人不要の商品であり、資金用途を子育て支援に限定していないことが特徴。融資のご提案の際に県の「子育て奨励金制度」等の支援策も併せて紹介することで、ご登録が促され、少子化対策の相乗効果が期待できる。</p> <p>個人のお客様向けには、児童手当受給口座のATM他行利用手数料の無料化、お子様の人数に応じて金利を優遇する預金・住宅ローン商品等をお取り扱いしており、金融面から応援することで少子化支援の一助となっていると考える。</p> <p>そのほか「子育て応援室」の設置、金融経済教育の実施、女性行員プロジェクトチームの活動等、人的資源を活用して取り組みを推進している。</p> <p>上記のような活動を通じて、自らの収益につながる持続可能な地域経済の発展を目指していきたい。</p>
3. 成果(効果)	<p>法人のお客様への融資のご提案の際、福井県が推進する「子育て応援プラスワン企業」への登録を紹介し、登録・認定されたことで、借入資金の金利優遇だけでなく、企業のイメージアップや人材確保・定着等にも効果を発揮するというご意見をいただいている。</p> <p>児童手当受給口座や子育て応援定期預金のお取り扱いが増加しており、金融面から地域の子育て家庭を応援することにつながっている。</p> <p>金融経済教育として小学校低学年向けの「親子マネー講座」を開催した。</p> <p>物とお金に関する学習を通じて親子のふれあいを深めることができたため、継続開催のご要望をお寄せいただいている。</p>
4. 今後の予定(課題)	<p>引き続き公と連携した取組みによって企業の社会的責任を果たし、収益向上に結びつく持続可能性のある新しいビジネスモデルを展開していく予定である。</p>

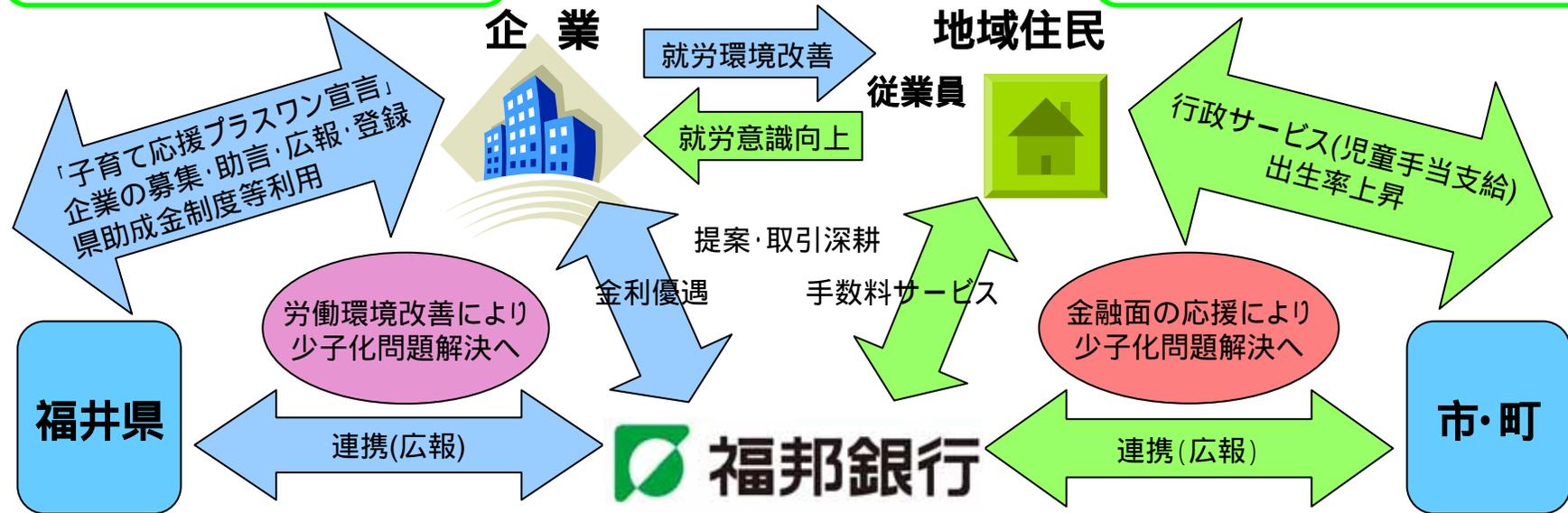
# 地域と少子化対策のビジョンを共有した取組み事例

地域の少子化対策と連携した取組みで企業の社会的責任を果たし、収益向上に結びつく持続可能性のあるビジネスモデルを展開します。

福井県が推進する  
「子育て応援プラスワン宣言企業」  
登録企業に事業性融資商品の金利優遇

「子育て応援バンク宣言」

児童手当受給のお客様向け  
「ATM他行利用手数料」「振込手数料」の  
キャッシュ・バックサービス



地域の子育て家庭を金融面から応援します。

- 「子育て応援定期」
- 「住宅ローン子育て優遇制度」
- 「子育て応援室」設置
- 金融経済教育「親子マネー講座」・情操教育
- かけこみATM設置
- 女性行員プロジェクトチームTiaraの活動ほか

